

伊勢のまちにとって式年遷宮はいつの時代も大きな節目であり、伝統的な民俗行事やその時期にあわせた様々な催事を実施してきました。以前の慣例では、ひとつの行事が終了した時点で実行団体が解散し、その都度改めて結成されていた組織運営でしたが、第62回神宮式年遷宮が完遂された後、平成27年より次期神宮式年遷宮へ向けて官民一体の新たな組織として「伊勢御遷宮委員会」が発足。「お木曳行事」「お白石持行事」等、御遷宮に関わる諸事業に継続的に携わることとなりました。それにより民俗行事において、伊勢市内各町（各団）との連携を途絶えさせることなく、事前に各町（各団）との情報共有等が可能となりました。伊勢御遷宮委員会では窓口となる事務局を設置し、随時聞き取り調査、広報活動などを行い、次期御遷宮やお木曳行事への下準備を続けています。

歴史的由緒や所在地区により内宮領と外宮領のいずれかに属し、実施の際の決まりごとなども歴史的慣例があり、それぞれ団ごとに



第62回神宮式年遷宮お木曳行事 陸曳（平成19年撮影）

参加の経験、ご記憶がある方はもちろんですが「これまで経験がない」という方もぜひ20年ごとの伊勢のまちの節目となる御遷宮に関わる一大行事に興味を持っていただき、各町の奉曳団への参加をお願いいたします。それがまちへの貢献となり、また地域連携を深め、日本文化や暮らしを見直す機会となることでしょう。

また伊勢の地ならではの行事は子ども達にとっては特別な思い出となり、それがまちの未来への伝統継承につながっていきます。



参加の経験、ご記憶がある方はもちろんですが「これまで経験がない」という方もぜひ20年ごとの伊勢のまちの節目となる御遷宮に関わる一大行事に興味を持っていただき、各町の奉曳団への参加をお願いいたします。それがまちへの貢献となり、また地域連携を深め、日本文化や暮らしを見直す機会となることでしょう。

また伊勢の地ならではの行事は子ども達にとっては特別な思い出となり、それがまちの未来への伝統継承につながっていきます。

次期御遷宮に向けて、市民総参加で！

御遷宮行事への参加は神領民の特権、伊勢に住んでいるからこそ経験できる伝統文化です。

20年に一度社殿を同じ形のまま新しく造り替えお宮を遷す御遷宮。社殿のご造営は山（御杣山）から木を伐り出すことから始まり、9年をかけて進められます。

ご造営のための御用材（木材）を運搬する作業が行事化したのが「お木曳」行事です。

古くから神領民といわれた伊勢の町衆（市民）が御用材を曳く歴史ある祭事で、遷宮年の7年前から2ヶ年に亘り実施される神宮の神事と並ぶ民俗行事です。

伊勢市内には81の奉曳団があり、年齢性別問わず誰もが参加できる「全市をあげて行う伊勢市の伝統的な行事」として位置づけられています。

歴史的由緒や所在地区により内宮領と外宮領のいずれかに属し、実施の際の決まりごとなども歴史的慣例があり、それぞれ団ごとに



第62回神宮式年遷宮お木曳行事 川曳（平成18年撮影）

参加の経験、ご記憶がある方はもちろんですが「これまで経験がない」という方もぜひ20年ごとの伊勢のまちの節目となる御遷宮に関わる一大行事に興味を持っていただき、各町の奉曳団への参加をお願いいたします。それがまちへの貢献となり、また地域連携を深め、日本文化や暮らしを見直す機会となることでしょう。

また伊勢の地ならではの行事は子ども達にとっては特別な思い出となり、それがまちの未来への伝統継承につながっていきます。

令和5年度、お木曳が動き出します。

次期神宮式年遷宮
「奉曳本部・奉曳団連合会結成準備委員会」を設置予定

継続的な御遷宮への事業展開

伊勢のまちにとって式年遷宮はいつの時代も大きな節目であり、伝統的な民俗行事やその時期にあわせた様々な催事を実施してきました。

以前の慣例では、ひとつの行事が終了した時点で実行団体が解散し、その都度改めて結成されていた組織運営でしたが、第62回神宮式年遷宮が完遂された後、平成27年より次期神宮式年遷宮へ向けて官民一体の新たな組織として「伊勢御遷宮委員会」が発足。「お木曳行事」「お白石持行事」等、御遷宮に関わる諸事業に継続的に携わることとなりました。

それにより民俗行事において、伊勢市内各町（各団）との連携を途絶えさせることなく、事前に各町（各団）との情報共有等が可能となりました。伊勢御遷宮委員会では窓口となる事務局を設置し、随時聞き取り調査、広報活動などを行い、次期御遷宮やお木曳行事への下準備を続けています。

奉曳団結成のための準備がはじまる

神宮式年遷宮は、天皇陛下の御聴許を拝して準備が始まります。お木曳行事に向けましては、前例に倣い「奉曳本部・奉曳団連合会」の結成を予定しております。

そこで、伊勢御遷宮委員会では、「奉曳本部・奉曳団連合会」結成までに団を結成していただけますように準備を行う組織として、結成1年前に「奉曳本部・奉曳団連合会結成準備委員会」の設置を予定しています。各町（各団）の皆様と、より連携を図り、先人達より受け継いできた伊勢の民俗行事を遺憾なく執り行つていただけるように取り組んでまいります。

【今後の予定】

奉曳本部・奉曳団連合会結成準備委員会
設置／令和6年2月11日（予定）
※神宮式年遷宮用材奉曳本部・奉曳団連合会
結成／令和7年2月11日（予定）

これまで「伊勢のごせんぐう」として発行してまいりましたが、来年度からは広報紙「伊勢のお木曳」として、次期御遷宮の「お木曳行事」への市民総参加を目指し、より多くの伊勢市民の皆様へ周知・ご理解いただけるよう情報を発信してまいります。



平成27年4月 伊勢御遷宮委員会発足時



平成17年2月11日 第62回神宮式年遷宮用材奉曳団連合会結成式

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
西暦	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033
行事予定	お木曳 行事準備 ※準備委員会 設置 (令和6年 2月11日)	※奉曳本部等 結成 (令和7年 2月11日)	御樋代木 奉曳式 浜参宮 試し曳等	第一次 お木曳 行事	第二次 お木曳 行事			お白石持 行事準備 ※連合会 結成等			お白石持 行事
神宮の 御遷宮 諸祭			山口祭～ 御杣始祭	木造始祭		鎮地祭	宇治橋 渡始式			立柱祭 上棟祭 など	【遷宮年】 遷御
少年 年齢層	9～15	10～16	11～17	12～18	13～19	14～20	15～21	16～22	17～23	18～24	19～25
青年 年齢層	16～47	17～48	18～49	19～50	20～51	21～52	22～53	23～54	24～55	25～56	26～57
壮年 年齢層	48～67	49～68	50～69	51～70	52～71	53～72	54～73	55～74	56～75	57～76	58～77
老年 年齢層	68～	69～	70～	71～	72～	73～	74～	75～	76～	77～	78～

※一連の行事開催年は前例を反映した予定です。社会情勢等により変動する場合があります。